



アミール・ツアルファティ

[2023年4月6日 ニュース速報]

レバノンからイスラエルに対する攻撃

<https://youtu.be/Uy9pYur2Y-U>



私は日本の東京にいます。もう21時近くです。ニュース速報です。この数日間、イスラエルはガザからのロケット弾幕にさらされてきましたから。しかし、私が見る限り、ロケット・アラートが可動し、それから実際にレバノンから飛んで来たものが、空中で阻止されました。今日は、過ぎ越しの日で、過越のセダーが昨夜祝われました。これはイスラエルの

昼間のことで、家族連れが国立公園に行ったり、旅行に行っています。そして今日早くに、ハマスの指導者がヒズボラを訪問し、一緒に声明を発表しました。「ヒズボラは、アル・アクサを保護するためのパレスチナの取り組みに加わる。」

さて、皆さんは恐らく思っているでしょう。「アル・アクサでは何が起きているのか？」とてもシンプルです。ちなみに、これは去年のコピペで、昨年ニュースを確認すれば、まったく同じです。イランは、この地域を扇動したいのです。イランは、さまざまな方向から計画している攻撃を正当化する十分な理由が必要で、それで何をしているかという、イランは、パレスチナ人に次のように伝えています。「挑発を仕掛けろ、イスラエル人が悪く見えるような状況を作るのだ。そうすれば、なぜ我々がロケットを飛ばさなければならないのか、誰もが理解するだろう。」

それで、数日前に何が起こったかという、何百人ものパレスチナ人が、現状維持に違反し、規則に違反し、その場所の規則に反対し、イスラムのワクフの規則そのものに違反しています。何百人ものパレスチナ人が、リュックやカバンを持ってアル＝アクサ モスクに来て、そこで一晩滞在し…石や、爆竹、ナイフがいっぱい入ったカバンです。そして彼らは何をしたかったかという、そこにとどまり、一日中暴力と暴動です。警察は、彼らに退去を命じましたが、彼が従わないと、警察は電気を消し、モスクに足を踏み入れ、全員を退去させました。すると彼らは爆竹を使用し、この全てを、イスラエルの兵士が神殿の丘を占領しているかのように見せました。

さて、聞いてください、毎年同じです。なぜ世界中の誰もが、このばかげたことを信じるのかわかりません。我々は、神殿の丘を乗っ取るつもりはありません。信じてください。ユダヤ教の神殿が建てられるときには、イスラム教徒の反対はありません。私を信じてください。そしてそれまでは、彼らが望むのは、ただ祈り、それが終われば家に帰る、それだけです。どんなモスクでも、どんな大きな教会でも、それが終わ

れば、終わりです。どこでも聖地では、祈りの時間が終わると外に出て、鍵をかける、そうして終了します。サウジアラビアのメッカとメディナでも、そのように行います。祈りが終わったら、みんな出なければなりません。パレスチナ人はずっと、自分たちの神殿の丘を冒涇して来ました。彼らは、いたるところでサッカーをしたり、テロリストのポスターを掲げて、それを、政治目的の場として使っていて、彼らは、その場所にまったく敬意を示しません。

ですから、イスラエル警察は2晩前に全員を撤退させ、昨夜、彼らは同じことをしました。今回は、暴力や爆竹等はなしで、彼らは外へ出されました。しかし今は、エルサレムの守護者であるハマスがガザからロケット弾を発射していて、そして今日は… 今日というより、数分前に、ヒズボラが彼らに加わったに違いありません。レバノンとの国境上空での傍受の報告を受けていますから。皆さん、今それをテレグラムに投稿します。現在、レバノン上空で迎撃中。テレグラムで私をフォローしていない方は、今すぐフォローしてください。そうすれば最新情報を入手し、実際に何が起きているのかを正確に把握できますから。

これが状況です。過越の祭りに、基本的にイスラエルは、同時攻撃を受けています。ガザから、北はヒズボラから、レバノン、ガザとヒズボラからロケットで。

さて、状況は非常にデリケートで脆いです。彼らは、私たちが報復しないことを期待しています。なぜならイスラエルの政治情勢は弱く、今は過越祭で、ラマダンですから。彼らは、私たちが報復しないことにかけています。もしイスラエルが報復しなければ、彼らは「ほらね」と感じ、そして、さらにエスカレートするでしょう。もし、イスラエルが報復すれば、戦争に発展するかもしれません。ですから、イスラエルの反応を見守りましょう。これまでのところ、報復はそれほど決定的でも強力でもありません。おそらく、その為彼らは止めず、実際に、ことを強化しているのでしょう。ほら、これは毎回ラマダンの儀式です。挑発を生み出すために、この月に彼らが使う儀式です。そうして、ある種の紛争を扇動し、パレスチナ問題を再び話し合いの場に持ち込むためです。宗教的な目的とは何の関係もありません。イスラエルは神殿の丘を占領するつもりは全くありません。神殿の丘でのユダヤ人の訪問時間は、以前と同じであり、今後も同じです。そういう事です。しかし、毎年「ユダヤ人が侵略し、アル＝アクサを乗っ取ろうとしている！」という嘘が浮上します。ちなみに、私に言わせれば、聖書的には、基本的に神がエゼキエル戦争の終わりに送る地震で、すべてが滅び、その後、イスラエルが神殿を建てることを許すことを、反キリストが許すのだと私は信じています。我々は、侵略して誰かから何かを奪う必要はないと思います。

しかし、繰り返しますが、要点は、過去2日間、ガザからのロケット攻撃が続いていて、今は、おそらくレバノンからも攻撃があり、現在、レバノン上空で迎撃中です。皆さん、これは戦争の一步手前です。興味深いです。

今後も報告を続けます。私は東京にいますが、テレグラム チャンネルが非常に賑やかです。ですから、注目してください。たくさんの方が起こっています。良いですね？
さて、聞いてください。イスラエルのために祈ってください。大変な時代です。私たちはあなたの祈りを頼りにしています。私たちが過ぎ越しの日によく言うのは「ファラオを乗り越えたなら、これも乗り越える」そして、私たちは恐れていません。私は恐れていません。私の国は恐れていないと思います。彼らは挑戦し続けますが、いつも失敗します。良いですね？いよいよです。イスラエルのために祈りください。ガザと、レバノンからのロケット攻撃です。すべてラマダン、神殿の丘に関係しています。これを見て、転送し、できる限り多くの人々と共有してください。

ビホールド・イスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.